



プロモーションは情熱だ！

当社スタッフ尾崎の情熱が、サイレントコメディ・デュオ「が〜まるちよば」を名古屋に初めて招聘し、大成功を収めました。

彼らとの出会いは2003年、「大道芸ワールドカップ in 静岡」でのストリートパフォーマンス。その面白さにたちまち夢中となった尾崎は、その思いを彼らに直接伝えます。すると「実はパントマイムの舞台公演もやっており、たくさんの人に見てもらいたいと思っているが、なかなかその機会に恵まれない」とのこと。世界最大級の演劇祭・エジンバラフェスティバルのFRINGE公演で受賞するほどの実力なのに、国内の公演オファーは入らないと…。

そして後日、そんな彼らの舞台を初めて体験した尾崎。——それは、生まれて初めての感動と衝撃でした。「これは日本の宝だ！ 広めなくてはいけない！」という使命感に突き動かされるまま、2005年、彼らのドキュメンタリーを撮るためにスタッフを編成、イギリス・スコットランドのエジンバラまで出向き、彼らとの人間関係を深めていきます。その後、バンコク、クアラルンプール、そして再度エジンバラと彼らを追い、遂には、当社がオフィスを置く名古屋の地で、東京以外では初めての単独公演を実現すべく、会社の定款まで書き換え、走り始めました。

その当時無名に近かった彼らのプロモーションは、想像以上に難しく、今でも忘れることはありません。舞台公演の手法としては例のない草の根的手段も用い、当時、まだ走りであったブログやmixiなどのSNSも大いに活用。やがて、尾崎の情熱が少しずつ伝播していきました。

結果、公演3週間前にチケットは完売。公演もアンコールが4回、客電が点いても拍手は鳴り止まず、大成功を収めました。初年度の公演は、東海テレビ放送(株)の舞台担当者の注目をひき、翌年から共催となり、今に至ります。

その後、国内の芸能オフィスに所属、メディアへの露出も増え認知度が高まった「が〜まるちよば」。現在では毎年、名古屋で3,000人以上の観客を集客しています。

「情熱は伝播する」——それは、確信を持って私たちが大切にしている言葉です。

